

株主のみなさまへ

第56期 株主通信

2012年4月1日から2013年3月31日まで

Nagoya
NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.



世界最先端の検査装置 ～3次元X線検査装置「NXI-3300」～

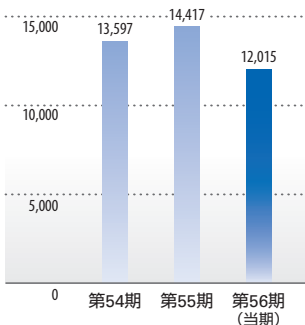
名古屋電機工業株式会社

証券コード◎6797

Financial Highlights
決算ハイライト

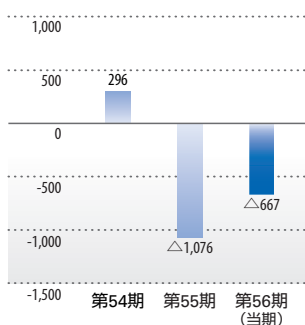
売上高

単位:百万円



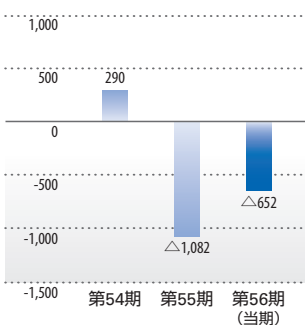
営業利益

単位:百万円



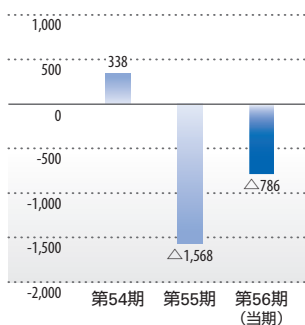
経常利益

単位:百万円



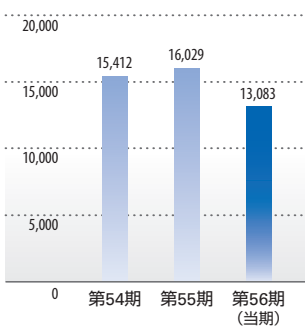
当期純利益

単位:百万円



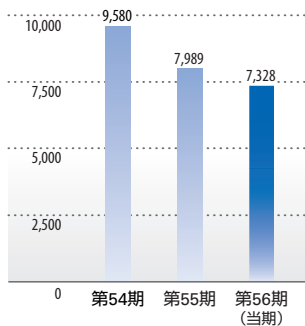
総資産

単位:百万円



純資産

単位:百万円



経営理念

～「正々堂々」～

1. 良い品を作る
1. 安全に作業する
1. 礼儀正しくする

行動指針

～「日に新た」～

1. 現場現物
1. 準備万端
1. 率先垂範

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援ならびにご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第56期（2012年4月1日から2013年3月31日まで）のご報告をさせていただきますにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

2013年6月



代表取締役社長 千場敏明

営業の概要

当社グループの主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、公共投資が総じて底堅い動きとなっているものの、激しい競争のなか、売上については厳しい状況で推移しました。

また、民需を主とする検査装置事業につきましては、アジア地域の景気拡大テンポがやや持ち直しつつあり、自動車販売の下げ止まりがみられることなどにより、受注と売上は堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは顧客対応力を強化し、開発・製造・販売一体で受注の確保に努めてまいりました。また、コスト管理強化の推進や、固定費を中心としたコスト削減を行い収益性の改善に努めてまいりました。

今後の課題

日本経済再生に向け、総額20兆円を超える補正予算が閣議決定されたものの、当社を取り巻く環境は、落札価格の低下および企業の設備投資意欲の低迷等依然として厳しい状況下にあり、既存市場での収益を確保しつつ、新規市場を開拓することが、当社グループの課題と認識しております。

そのために、現場・現物主義を徹底し、市場の声に耳を傾け、社員一人ひとりが常に自ら動き、積極的な提案活動、確かなモノづくり、きめ細やかなアフターサービスをスピーディーに提供することを心がけ、顧客満足度の向上を目指します。

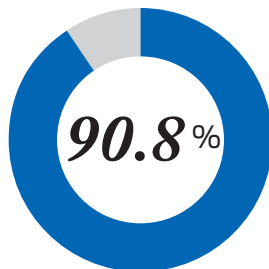
また、主要部品の調達コスト削減や内製化率を高めることによりコスト競争力強化を図るとともに、品質の向上も推進してまいります。

一方、営業面では、強い流通を作り明日への布石を打ってまいります。技術面では、強い商品を作り技術をリードしてまいります。そして、これらを下支えする管理面においても、経営体質強化のため積極的にサポートしてまいります。

セグメント情報

情報装置事業

受注につきましては、高速道路会社向けの案件を中心に堅調に推移しました。しかしながら、競争激化及び期初受注残物件が少なかったことなどにより売上は減少しました。一方、収益性につきましては、コスト削減効果により改善しましたが、受注価格の低下により厳しい状況が続きました。



2013年3月期

売上高 **10,914**百万円セグメント利益 **347**百万円前期売上高(参考) **13,612**百万円

トンネル防災システム



道路情報提供システム



図形情報板



冠水警告システム



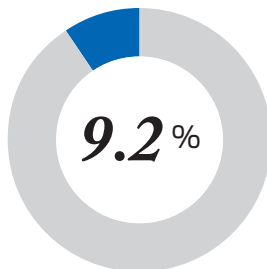
道路状況収集センサー



「道の駅」情報提供システム

検査装置事業

企業の設備投資は下げ止まりつつあるものの、検査装置分野向けの設備投資意欲は依然として低迷しております。このような状況のなか、主力のはんだ付け外観検査装置を中心に新規及び更新需要に対する販売活動を積極的に行い売上高は増加しましたが、利益を上げるまでには至りませんでした。



2013年3月期

売上高 **1,100**百万円

セグメント利益 **△308**百万円

前期売上高(参考) **805**百万円



はんだ付け
外観検査装置 (ハイエンド)



はんだ付け
外観検査装置 (スタンダード)



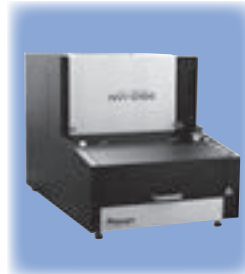
クリームはんだ
印刷検査装置



3次元X線検査装置



X線検査装置



卓上型はんだ付け
外観検査装置

LED照明事業を始めました

当社は、2013年4月1日よりLED照明事業を開始しました。取扱製品としては一般道路向けをはじめとし、室内向けの製品もラインアップしています。いずれの製品も、従来の一般照明器具と同等の明るさを確保しつつ、大幅な低消費電力、長寿命、CO₂排出量の削減を実現しています。たとえば、道路用照明器具でみると、水銀灯300Wタイプに比べ消費電力は63%ダウン、光源寿命は500%アップ、CO₂排出量は63%ダウンとなります。（高圧ナトリウム灯240Wに比べると、それぞれ44%ダウン、250%アップ、44%ダウンとなります。）

今後もLED照明の使用範囲は広くなるとわれ、当社としても情報装置事業、検査装置事業に次ぐ第三の事業となるよう、積極的に拡販に注力してまいります。



株式会社インフォメックスを吸収合併しました

2013年4月1日付で、当社は連結子会社である株式会社インフォメックス（以下、インフォメックス）を吸収合併しました。本合併は、当社の情報装置事業部門と一体的な体制を確立するとともに、当社グループ全体として、経営資源の効率的な活用と事業基盤の一層の強化を図ることを目的としたものです。インフォメックスは1991年6月に設立され、「車載標識装置」「自走式標識車」「簡易型可搬式標識装置」等、道路の維持管理、工事規制の際に使用される標識装置及び「歩行者保護情報板」「エコ電子百葉箱」等の小型情報板を扱ってまいりましたが、本合併により、それらは新設された営業推進部が扱うことになりました。営業推進部では、従来の商品に加え、照明をはじめとする新商材の拡販にも注力してまいります。



トヨタ自動車株式会社様より「技術開発賞」を受賞しました

2013年2月21日、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ自動車）様の主催により、「2013年トヨタグローバル仕入先総会」が開催され、トヨタ自動車様の2013年度における調達方針説明と2012年度の仕入先表彰が行われました。当社は、この仕入先表彰において、「カメラアレイ式画像検査装置」の開発（トヨタテクニカルデベロップメント株式会社殿との共同開発製品）にあたり、「技術開発賞」を受賞しました。今回受賞した「カメラアレイ式画像検査装置」は、電子ユニット基板製造の後工程で、異物・部品の欠落等を高速で自動検査する画像検査装置です。当社が開発した「10億画素カメラアレイモジュール」を搭載することにより、従来の検査装置に比べ、「検査エリアのカバー率が10倍以上に拡大」「必要なライン長が1/7になり、大幅な省スペース」等を実現できました。



ネプコンチャイナ2013に出展しました

2013年4月23日から25日まで中国上海の上海世博展覽館で開催された「ネプコンチャイナ2013」に出展しました。今回は、新商品であるインライン対応3次元X線検査装置「NXI-3300」と、卓上型はんだ付け外観検査装置「NVI-D100」を含む3商品を展示し（NXI-3300はパネル展示）、検査装置の基本であり当社検査装置のアドバンテージでもある「卓越した検査性能」を一貫して追求しました。

当社ブースへお越しいただいたお客様は、前年出展時に比べ減少しているものの、今期及び来期以降に具体的な設備導入計画をお持ちのお客様は増加しており、商談の手ごたえを得ることができました。中国市場での拡販を目指し、これらを販売に結びつけるよう、検査装置事業本部が一丸となって営業活動に邁進してまいります。



連結財務諸表

連結貸借対照表

[単位：百万円]

科目	期別 第56期 (当期) (2013年3月31日現在)	第55期 (2012年3月31日現在)
資産の部		
① 流動資産	9,063	12,109
② 固定資産	4,019	3,919
有形固定資産	2,620	2,658
無形固定資産	279	268
投資その他の資産	1,119	992
資産合計	13,083	16,029
負債の部		
③ 流動負債	4,753	7,045
固定負債	1,002	994
負債合計	5,755	8,039
純資産の部		
株主資本	7,120	7,936
資本金	1,100	1,100
資本剰余金	1,020	1,020
利益剰余金	5,003	5,819
自己株式	△3	△3
その他の包括利益累計額	208	52
純資産合計	7,328	7,989
負債純資産合計	13,083	16,029

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

ポイント

① 流動資産

流動資産は前年同期より3,045百万円減少し9,063百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が前年同期より3,243百万円減少したことによるものです。

② 固定資産

固定資産は前年同期より100百万円増加し4,019百万円となりました。これは主に、繰延税金資産は前年同期より88百万円減少したものの、投資有価証券が前年同期より221百万円増加したことによるものです。

③ 流動負債

流動負債は前年同期より2,292百万円減少し4,753百万円となりました。これは主に、短期借入金が前年同期より2,300百万円減少したことによるものです。

連結損益計算書

[単位：百万円]

期別	第56期（当期）	第55期
科目	(2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	(2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
④ 売上高	12,015	14,417
売上原価	10,810	13,511
⑤ 売上総利益	1,204	906
販売費及び一般管理費	1,872	1,982
⑥ 営業損失（△）	△667	△1,076
営業外収益	30	38
営業外費用	15	45
経常損失（△）	△652	△1,082
特別利益	7	0
特別損失	11	290
税金等調整前当期純損失（△）	△656	△1,373
法人税、住民税及び事業税	30	29
法人税等調整額	99	165
少数株主損益調整前当期純損失（△）	△786	△1,568
当期純損失（△）	△786	△1,568

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位：百万円]

期別	第56期（当期）	第55期
科目	(2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	(2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,162	△775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199	△438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,365	1,107
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	598	△106
現金及び現金同等物の期首残高	1,608	1,714
現金及び現金同等物の期末残高	2,206	1,608

注：記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。

ポイント

④ 売上高

売上高は前年同期より2,402百万円減少し12,015百万円（前年同期比83.3%）となりました。これは情報装置事業において、競争の激化による受注の伸び悩み、期首受注残案件が少なかったことによるものです。

⑤ 売上総利益

売上総利益は前年同期より298百万円増加し1,204百万円（前年同期比132.9%）となりました。これは売上高は減少したものの、コスト削減、固定費の削減などにより、売上原価率が前年同期比3.8%改善したことによるものです。

⑥ 営業損失

営業損失は前年同期より408百万円改善し、667百万円となりました。これは売上総利益が前年同期より298百万円増加したこと、販売費及び一般管理費が前年同期より109百万円減少したことによるものです。

会社概要 (2013年6月27日現在)

会社概要

商号	名古屋電機工業株式会社 NAGOYA ELECTRIC WORKS CO., LTD.	
設立	1958年5月	
資本金	1,100,005千円	
事業内容	官公庁向け各種情報装置システムおよび自動車、電子機器市場向け各種検査装置の製造販売	
拠点	○本社 愛知県あま市（登記上の本店は名古屋市中川区） ○管理本部 愛知県あま市 ○技術開発室 愛知県あま市 ○情報事業本部 愛知県あま市 支店 札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、福岡 営業所 北陸、神奈川、四国、南九州 連絡事務所 インド（ハイデラバード） ○検査装置事業本部 営業所 東日本、西日本 連絡事務所 中国（無錫、深圳）	
従業員数	388名（2013年3月31日現在）	

役員

代表取締役社長	干場敏明
常務取締役	浅野和夫
取締役	服部高明
取締役	後藤博示
取締役	大矢鈴明
取締役	江州秀人
常勤監査役	伊藤栄
常勤監査役	間瀬憲治
監査役	服部紀男
監査役	赤澤義文

ホームページのご案内

～ホームページを
リニューアルしました～

当社はホームページ内に投資家の方々を対象とした投資家向け情報のページを設けています。株主通信のバックナンバーや決算短信、配当金情報といった各種資料等がご覧いただけます。



ホームページアドレス
<http://www.nagoya-denki.co.jp/>

株式の状況 (2013年3月31日現在)

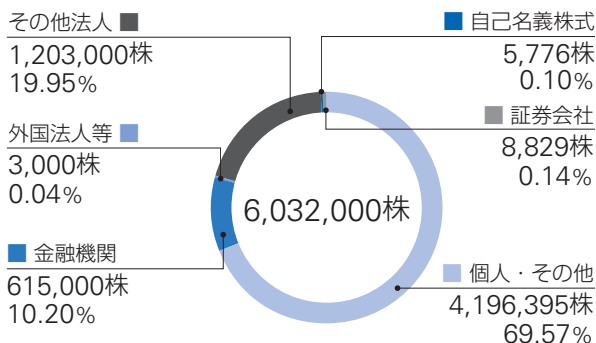
株式の状況

発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式総数	6,032,000株 (自己株式5,776株を含む)
株主数	484名
単元株式数	1,000株

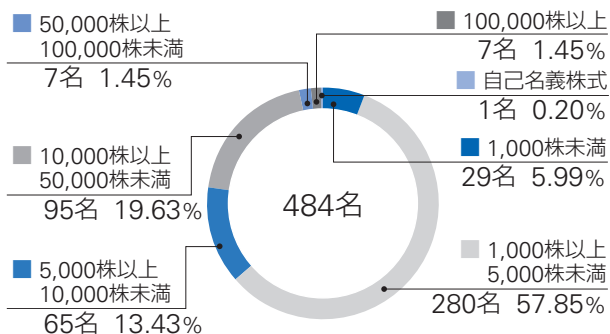
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
名古屋電機工業社員持株会	679,000	11.25
服部正裕	564,400	9.35
有限会社名電興産	540,000	8.96
服部哲二	498,000	8.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	295,000	4.89
福谷桂子	288,000	4.77
三井住友信託銀行株式会社	130,000	2.15
第一生命保険株式会社	64,000	1.06
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	62,000	1.02
服部優里	62,000	1.02

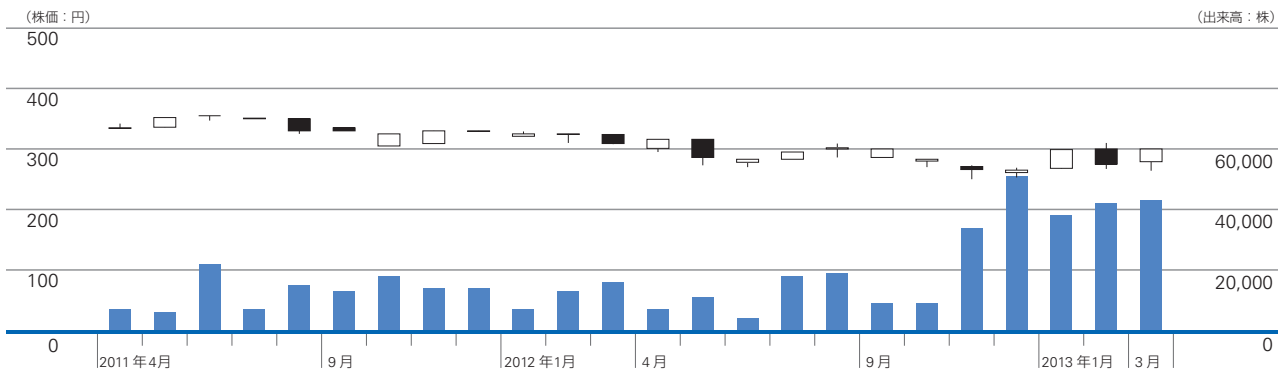
所有者別分布状況



所有数別分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	中間配当を行う場合は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	名古屋証券取引所 市場第二部 (コード6797)

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

* 確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。